

1－(1) 将来の夢や希望を育みかなえる教育の推進

⑤ 生涯学び活躍できる環境づくり

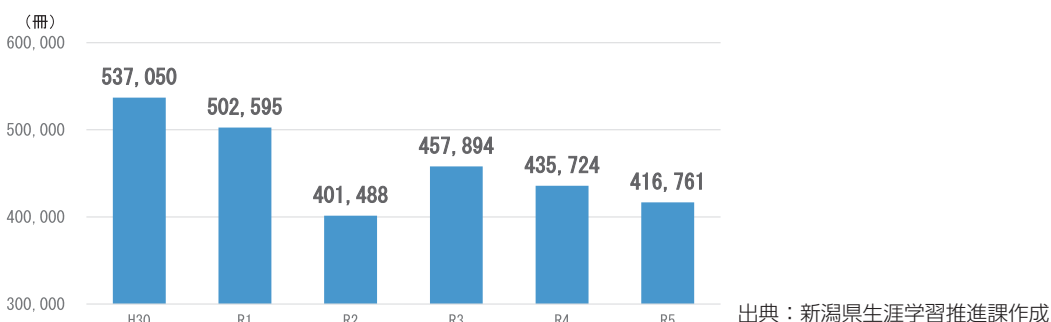
1 現状・課題

県では、県民が「だれでも、いつでも、どこでも」学べる生涯学習社会の実現に向け、社会教育施設における学習機会の充実に取り組み、一定の成果を上げてきたところであるが、近年の目覚ましいデジタル活用の進展により、インターネットを利用した学習の機会が大きく広がり、学び方自体が変わってきている。そのため、高齢者などのデジタルデバインド(P127(注)参照)解消とともに、公立図書館等におけるデジタル基盤の強化促進等、環境の充実に努めていく必要がある。

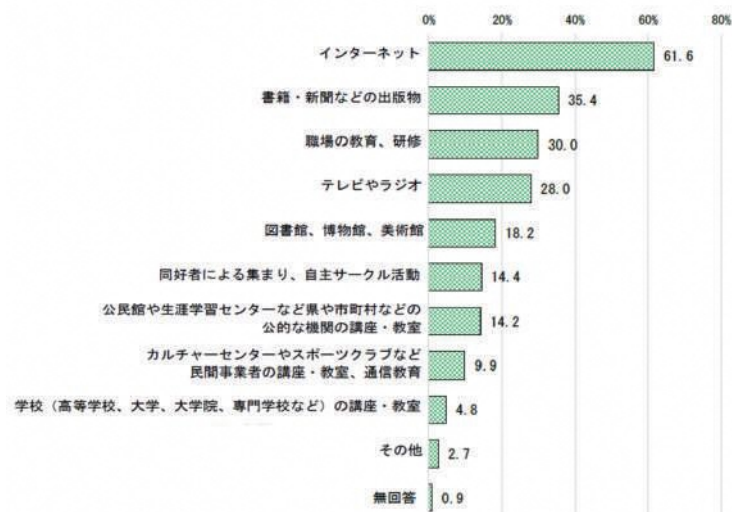
あわせて、急速な社会経済環境の変化や取り組むべき課題の複雑化を受け、県民が学んだ成果を地域課題解決等に活かすことが期待されており、そうした活動を支えることができる人材の養成が求められている。

また、地域社会のつながりや支え合いの希薄化が懸念される中、学校・家庭・地域が連携・協働し、地域全体でこどもの成長を支えていく体制整備の必要性及び地域における家庭教育支援の重要性が高まっている。

●県立図書館貸出冊数



●月に1回以上学習した方の、学習の場所や形態 ※複数回答



出典：新潟県「県民の意識・満足度アンケート調査(令和6年度)」

※「この1年間に、月1回以上どのようなことを学んだか」との質問に対し、学んだ内容のいずれか一つでも選択した者(N=1069)